

## これからの歯科技工士に残すべきもの

歯科技工士のなり手不足は顕著であり、歯科技工士養成機関は定員の縮小、定員割れ、募集停止、廃校等窮地に立たされ、日本、都道府県歯科技工士会の課題となっている。総務省の日本標準職業分類での歯科技工士は、大分類コード B: 専門的、技術的職業従事者・中分類コード 14: 医療技術者・小分類コード 147 歯科技工士であり、日本標準産業分類での歯科技工所は大分類 P: 医療・福祉・中分類 83: 医療業・小分類 836: 医療に附帯するサービス業・細分類 8361: 歯科技工所と位置付けられている。しかし、患者に接する機会が少ない就労状況や長時間労働、低賃金等から将来を憂い、若年層を先頭に離職、廃業は後を絶たない状況にあり、従事する歯科技工士の平均年齢は上がる一方である。働き方改革は歯科技工業も決して例外ではない。DX (デジタルトランスフォーメーション) は、データとデジタル技術によって商品やビジネス、業務、企業文化等の変革を成し遂げるものであり、その目的は競争力の維持・獲得・強化を果たすことにある。CAD/CAM 機材の進展によるデジタル技工は、これからの歯科技工士の憂いを解消するツールとして大いに期待できる。しかし、従来からの法律と制度では様々なチャンスを失うことになりかねない。日本歯科技工士会が展開する公益と日本歯科技工士連盟が展開する共益は両輪であり、この二つが強固に組むことによって安心・安全な歯科医療の提供と歯科技工士の適正な養成と確保が具現化する。本研修では歯科技工士に必要な知識 (歯科技工と歯科技工業) を基にして、将来に繋がる洞察力を醸成したい。